

明石(穂)

- 04 41 02 行きき ゆくすゑ穂
- 04 41 02 御ありさまに御ありさまにて穂
- 04 41 02 心つようしも心つよくも穂
- 04 41 03 よにゆるされもなくては世のゆるされなく
ては穂
- 04 41 04 山を 山穂
- 04 41 05 などと穂
- 04 41 05 人の 人穂
- 04 41 05 事 ことの穂
- 04 41 05 名や なをや穂
- 04 41 06 なかしはてんと なかしはてんなと穂
- 04 41 06 夢にもたゝ 御ゆめなにも穂
- 04 41 06 きつゝ みえて穂
- 04 41 06 きこゆと きこゆると穂
- 04 41 07 雲まなくて くもまもなくて穂
- 04 41 07 あけるゝ あかしくらす穂
- 04 41 07 そへて つけて穂
- 04 41 07 方も 事のみ穂
- 04 41 07 いとゝ ナシ穂
- 04 41 07 おほつかなくから おほつかなく
穂
- 04 41 08 おほせとおほすに穂
- 04 41 09 あらぬ なき穂
- 04 41 09 みたれに 気色に穂
- 04 41 10 そをち そほち穂
- 04 41 10 まいれる まいりたる穂
- 04 41 10 みちかひにてたに みちかひにてたに穂

- 04 41 10 なにそとたに御覽しわくへくもあらずなに
そとしりわくへうもあらず穂
- 04 41 11 むつましう哀にあはれにむつましう穂
- 04 41 11 おほさるゝも おほさるゝにいと穂
- 04 41 12 思ひしらる おほししらる穂
- 04 41 12 御文に 御ふみには穂
- 04 41 13 心ちして 心ちし侍りてなん穂
- 04 41 13 なむ ナシ穂
- 04 41 14 事とも 事穂
- 04 42 01 給へり たまへる穂
- 04 42 01 いとゝ いとゝことはりにしのひかたうてい
ますこし穂
- 04 42 01 まさりぬへくかきくらす まさる穂
- 04 42 02 あやしきいとあやしき穂
- 04 42 02 きこえ侍しきゝ侍りし穂
- 04 42 03 内にまいり給かんたちめなともすへて かん
たちめなとうちへまいりたまふへき穂
- 04 42 03 みちとちて みちたえ穂
- 04 42 03 まつりことも まつりこと穂
- 04 42 03 たえてなむとちこめられてなんさはき
穂
- 04 42 03 侍なと 侍と穂
- 04 42 04 はかノしうも はかノしくも穂
- 04 42 04 かたくなしうかたくなしく穂
- 04 42 04 方の ナシ穂
- 04 42 05 いふかしうて ゆかしくて穂
- 04 42 05 御まへに いかゝなと御まへに穂
- 04 42 05 風は 風はけしう穂
- 04 42 06 吹いてて ふきつゝ穂

- 04 42 06 なり侍を なり侍に穂
- 04 42 06 れいならぬことによは穂
- 04 42 06 いと ナシ穂
- 04 42 07 ひふり ひのふり穂
- 04 42 07 侍らさりきはへらさりつ穂
- 04 42 07 いみしきさまに こゝをいみしと穂
- 04 42 08 おとろきおちて おとろきて穂
- 04 42 08 かほのいとからきにも かたちそ穂
- 04 42 08 心ほそさ 心ほそさそ穂
- 04 42 10 たかう たかく穂
- 04 42 10 あらき事 たかく穂
- 04 42 11 さらに ナシ穂
- 04 42 11 なくて なく穂
- 04 42 12 われは われ穂
- 04 42 12 つみををかして つみをしてか穂
- 04 42 12 みるらむ みるらむとなきかなしみあるは
穂
- 04 42 13 ちゝはゝにちゝはゝをも穂
- 04 42 13 めこのかほをもみて めこをもおほつかなく
穂
- 04 42 13 なけく 思なけく穂
- 04 42 14 しつめて しつめたまひて穂
- 04 42 14 なぎさに なぎさにて穂
- 04 43 01 つよう つよく穂
- 04 43 01 みてくら みてくらを穂
- 04 43 02 住吉の神 すみよしの明神穂
- 04 43 02 しつめまもり給まもり穂
- 04 43 02 まことに ナシ穂
- 04 43 02 たすけ給へと しつめたまへと穂

04 43 03 御身の 御みを穂
 04 43 04 ことの ことのみ穂
 04 43 04 かなしき かなしきに穂
 04 43 05 御身ひとつを 御身を穂
 04 43 05 とよみて ナシ穂
 04 43 06 もろこゑに もろこゑにをかみて穂
 04 43 07 給しかと 給しかとも穂
 04 43 07 御つつくしみおほやしまに 御つつくしみに
 穂
 04 43 07 しつめる しつめつる穂
 04 43 08 ともから とんから穂
 04 43 08 こゝら ナシ穂
 04 43 09 おほれ おほされ穂
 04 43 09 つみなくて たちまちに穂
 04 43 09 あたり あたりて穂
 04 43 09 つかさ位 官さく穂
 04 43 09 家 官穂
 04 43 10 そらなくときなく穂
 04 43 10 かく かつ穂
 04 43 11 めをさへみ めをさへみて穂
 04 43 11 さぎの世の さぎの穂
 04 43 12 かたにむきて かたへむかひて穂
 04 43 12 さまノの こゝらの穂
 04 43 13 なかの 中の穂
 04 43 13 願をさまノのくわむを穂
 04 43 13 たてさせ給に たてさせ給なとするに穂
 04 43 14 おはしますに かのおはしますに穂
 04 43 14 おちかゝりぬほのをもえあかりて おちかゝりぬとみる程に穂

04 44 01 うしろのかたなる うしろのかたのやの穂
 04 44 02 うつしたてまつりて まつうつしたてまつり穂
 穂
 04 44 03 声 こゑのひき穂
 04 44 03 いかつちにも いかつちに穂
 04 44 03 すみをすりたるやうにて日も すみをすりて穂
 穂
 04 44 04 しめりしつまりて穂
 04 44 04 星の光も ほしのひかり穂
 04 44 04 おまし所のおはしまし所穂
 04 44 04 めつらかなるも めつらかなるを穂
 04 44 04 いと ナシ穂
 04 44 04 かたしけなくて かたしけなかりて穂
 04 44 05 かへし ナシ穂
 04 44 06 まとへるに まとひつるに穂
 04 44 06 みすなとも みすも穂
 04 44 07 みな のこらす穂
 04 44 07 夜 よ穂
 04 44 07 こそはとこそはとて穂
 04 44 08 心あはたしこゝろあはたしきに穂
 04 44 08 しほほし穂
 04 44 08 みちきけるあとも みちにけるかたも穂
 04 44 09 あらはに あらはにて穂
 04 44 09 よせ 帰波あらしきをよせくるなみのこゑもす
 穂
 04 44 10 うちおほえおほえ穂

04 44 10 とやかくやととやかうやとものをもひまはし穂
 穂
 04 44 10 はかはかしうはれノしう穂
 04 44 11 あやしきあやし穂
 04 44 11 おはする所とておはしますとて穂
 04 44 11 あつまりまとひあつまり穂
 04 44 12 ことゝもを ナシ穂
 04 44 12 さえつりあへるも さえつるをも穂
 04 44 12 いとめつらかなれと ナシ穂
 04 44 13 えをひもはらはす えおひはらひたまはず穂
 穂
 04 44 14 なからましあるましかりけり穂
 04 44 14 たすけ 御たすけ穂
 04 44 14 をろかならざりけり をろかならず穂
 04 44 14 きき給もきき給にも穂
 04 44 14 いと心ほそしといへはをろか也よのつねな
 りや穂
 04 45 02 さすらへなまし さすらひなまし穂
 04 45 03 神の ナシ穂
 04 45 03 いたついたつノ上カマツラ書ク力穂
 04 45 03 こつし給にければこつしにければ穂
 04 45 03 心にもあらず 御心にもあらず穂
 04 45 04 うちまところみ給 つちねいられたまふ穂
 04 45 04 かたしけなきいと かたしけなき穂
 04 45 04 おまし所 御をまし穂
 04 45 04 故院たゞ二院のうへ穂
 04 45 05 たち給て ナシ穂
 04 45 05 所にところには穂
 04 45 05 物するそものしたまふ穂

04 45 05とりてナシ穂

04 45 06みちひき給まゝにははやみちひきのまゝに

穂

04 45 07の給はずのたまふ穂

04 45 07こなたこなたは穂

04 45 08のみナシ穂

04 45 08いまはいまはたゝ穂

04 45 08身をやすて侍なまし身をすて侍りなん

穂

04 45 09いさゝかなるいさゝかの穂

04 45 09我は我穂

04 45 10つみをつみ穂

04 45 11いみしきいといみしき穂

04 45 11みるにみるか穂

04 45 12たへかたくてたえかたさに穂

04 45 12いたくいたう穂

04 45 13そうすへきことのあるにより申へきことありて穂

りて穂

04 45 14かなしくてかなしうて穂

04 45 14なきいり給てなきなきて穂

04 45 14人もなく人もなくて穂

04 46 01とまれるとまりたる穂

04 46 02たなひけりたなひきて穂

04 46 02夢の内ゆめの中穂

04 46 02みたてまつらてえみたてまつらぬす穂

04 46 02御さま御すかた穂

04 46 03さたかにさやかに穂

04 46 03おほえ給てみえたまひて穂

04 46 04命いのちの穂

04 46 04給へると給にけると穂

04 46 04哀におほすに思ふに穂

04 46 05さはき御さはき穂

04 46 05なこりなこりさへ穂

04 46 05うれしうナシ穂

04 46 06御心まとひ御心まよと(ひ穂

04 46 06うち忘うちわすれたまひぬ穂

04 46 07夢浮橋にもゆめにたにも穂

04 46 07いますこしよく穂

04 46 07又やみえ給ふとまた穂

04 46 08ね入給へとさらし御とのこもれとん穂

04 46 08成にけりなりぬ穂

04 46 09はかりナシ穂

04 46 09さしてまいるさしてく穂

04 46 09なに人ならむなに人そ穂

04 46 10源少納言少納言との穂

04 46 11たいめしてたいめんして穂

04 46 11事の心このころは穂

04 46 11おとるきてきおとるきて穂

04 46 12あひかたらひ侍れとあひかたらふこと侍りしを穂

04 46 12あひうらむるうらむる穂

04 46 13侍てありて穂

04 46 13ことなることに穂

04 46 13かよはさてつかはさて穂

04 46 13ひさしうひさしく穂

04 46 13なり侍ぬるをなりぬるを穂

04 46 14ことかあらむとおほめくこと侍にかとを

とろく穂

04 46 14なともなと穂

04 46 14こともこと穂

04 47 01はやあへとはやくものせよと穂

04 47 01いきてゆきて穂

04 47 01さはかりかはかり穂

04 47 01波かせあめかせ穂

04 47 02しつらむとたまひつらんと穂

04 47 02心えかたく心えかたう穂

04 47 02おもへりおもひたり穂

04 47 02ついたちのひついたちのひの穂

04 47 03こと侍しかはやうなること侍りしかは

穂

04 47 03しむしかたきしんしかたかるへき穂

04 47 03おもふ給へしかとおもひたまへしかと

穂

04 47 04あらたなるあらたかなる穂

04 47 04舟ふねを穂

04 47 05浦にをうらに穂

04 47 05よせよと御ふねよせよと穂

04 47 05侍しかは侍りし穂

04 47 05よそひしやそく穂

04 47 06まち侍しに今日をまち侍しに穂

04 47 06いかめしきいかめしう穂

04 47 07しむしてしるしにて穂

04 47 07たくひナシ穂

04 47 07おほうおほく穂

04 47 07侍けるを侍を穂

04 47 07このかの穂

04 47 08日を日穂

04 47 09 ほそうほそく穂
 04 47 09 侍ること侍りつると穂
 04 47 09 神のしるへゆめのしるへ穂
 04 47 09 なんなんさしとめ侍める穂
 04 47 09 もしすこし穂
 04 47 10 ことや侍つらんこともや穂
 04 47 10 なむナシ穂
 04 47 10 申給へといふ申たまへとて穂
 04 47 11 忍やかにナシ穂
 04 47 12 事共をことんを穂
 04 47 12 行末ゆくすゑのこと穂
 04 47 12 きつたへんきつたえんこと穂
 04 47 13 後ののちの世の穂
 04 47 13 そしりもそしりを穂
 04 47 13 やすからさるへきをやすからさるへきこと
 >穂
 04 47 13 たすけつけ穂
 04 47 14 まさりてナシ穂
 04 47 14 人わらはれ人わらへ穂
 04 47 14 めをやみむことをや見はてん穂
 04 47 14 うつさまの人の心たに猶くるしはかなきこと
 とをもつみてたつつ人の心たに
 猶かゝるかなしきことつみて穂
 04 48 02 よせおほえ穂
 04 48 02 一きはひときはにても穂
 04 48 02 なひきしたかひてなをなひきしたかひ
 穂
 04 48 03 けりナシ穂
 04 48 03 とこそとこふる力穂

04 48 03 昔さかしきむかしのかしこき穂
 04 48 03 けにけふふ力穂
 04 48 04 かきりをかきり穂
 04 48 04 さらにもとも力穂
 04 48 05 はふくとてもはかるも穂
 04 48 05 たけき事もあらしたけきことあるまし
 穂
 04 48 05 夢の中にもゆめのなかにても穂
 04 48 05 ありつればさへきつれば穂
 04 48 05 なにことかなにことをかはいかと穂
 04 48 06 おほして許おほしは許力穂
 04 48 06 御返御返に穂
 04 48 06 しらぬせかいにしらぬさかひにてさま
 穂
 04 48 07 をこするをはする穂
 04 48 07 人もなし人もなく穂
 04 48 07 月日の光月のひかり穂
 04 48 08 なかめ侍にむつひなかめ侍りつるに穂
 04 48 08 うれしきつり舟いとつれしき御つりふね
 穂
 04 48 08 かのよろこひはへるかの穂
 04 48 08 しつやかにしつらかに穂
 04 48 09 くまものくま穂
 04 48 09 侍りなんや侍や穂
 04 48 09 の給のたまへり穂
 04 48 09 かきりなくよろこひかしまり申よろこひ
 きこゆる事がきりなし穂
 04 48 09 ともあれかくもあれとまれかうまれ穂
 04 48 10 夜よ穂

04 48 10 明はてぬあけはなれぬ穂
 04 48 11 たてまつりぬいそかしたてまつりぬヨイ力
 穂
 04 48 11 いてきてふきて穂
 04 48 11 あかしにあかしの浦に穂
 04 48 12 程にかた時のまほときのま穂
 04 48 12 心心はえ穂
 04 48 13 いとナシ穂
 04 48 13 御ねかひ御こる穂
 04 48 14 らうしめたるらうしまはしたる穂
 04 48 14 うみのつら海つら穂
 04 48 14 山かくれふかき山かくれ穂
 04 48 14 とぎおりノ時ノ穂
 04 49 01 なぎさのとまやなぎさのさま穂
 04 49 01 おこなひをおこなひ穂
 04 49 01 後世のことのちの世の事穂
 04 49 01 思ひすましつへきおもひすますへき穂
 04 49 01 山みつのつらうみのつら穂
 04 49 02 たうをたう穂
 04 49 02 三味をおこなひ三まひをつとめ穂
 04 49 03 おりノをりノに穂
 04 49 03 所につけたるところにつけておもしろく
 穂
 04 49 05 うつしてうつりてなん穂
 04 49 05 すませければすみければ穂
 04 49 05 おはしますをりてはしますす
 ノ上力
 ラをヲ書ク穂
 04 49 05 舟より御車に御ふねくるまに穂
 04 49 06 老わすれをいもわすれ穂

- 04 49 07 よはひのふるよはぬものふる穂
- 04 49 07 糸みさかへて糸みさかへ穂
- 04 49 07 住吉の神すみよしの明神穂
- 04 49 07 たてまつるきこゆ穂
- 04 49 08 えたてまつりたる心ちしてえたることとて穂
- 穂
- 04 49 08 ことほりなりいとことなり穂
- 04 49 09 をはナシ穂
- 04 49 09 さらにいはずえもいはず穂
- 04 49 09 つくりなしたるつくりなし穂
- 04 49 10 などナシ穂
- 04 49 10 ありさまえもいはぬ心はえ穂
- 04 49 10 心のいたりすくなからんこゝろいたりくまなからん穂
- 04 49 11 糸しはえしも穂
- 04 49 11 かきをよぶましとかきをよぶましく穂
- 04 49 11 こよなくこよなう穂
- 04 49 「あきらかになつかしきなつかしうあきらかなり穂
- 04 49 12 御しつらひなとしつらひなとは穂
- 04 49 12 えならすしてえならて穂
- 04 49 13 所ノゝにところ穂
- 04 49 13 ことならずこよなからす穂
- 04 49 13 まはゆきさまはこまかなるすちは穂
- 04 49 13 みゆるししなしたる穂
- 04 49 13 御心こゝろ穂
- 04 49 14 しつまりてはしつまりて穂
- 04 49 14 御文文御ヲヨム力穂
- 04 49 14 きこえ給かきたまふ穂

- 04 50 14 使はいまはのちは穂
- 04 50 01 みるとみつるとて穂
- 04 50 01 あのナシ穂
- 04 50 01 とまりたるをとまれるを穂
- 04 50 02 物とも物なと穂
- 04 50 02 たまひてたまはせて穂
- 04 50 02 御いのりのしとも御いのりの事も穂
- 04 50 03 所ノゝにはところノゝに穂
- 04 50 03 この程のこの程穂
- 04 50 03 くはしくくはしうくノ上カラうヲ書ク穂
- 穂
- 04 50 03 いひつかはすへしいひつかはすさて穂
- 04 50 03 はかりにははかりになん穂
- 04 50 04 めつらかにてめつらかに穂
- 04 50 04 よみ帰さまよみかへりたるさま穂
- 04 50 04 きこえ給しのひてきこえ給ける穂
- 04 50 04 御かへりは御かへり穂
- 04 50 05 猶ナシ穂
- 04 50 06 かきりをかきり穂
- 04 50 06 つくしはてつる見つくしつる身の穂
- 04 50 07 侍れと侍れとも穂
- 04 50 07 面かけ御おもかけ穂
- 04 50 08 かくかう穂
- 04 50 08 こゝろこゝろつく穂
- 04 50 08 さまノゝのナシ穂
- 04 50 08 うれはしさはうれはしさをは穂
- 04 50 08 さしをかれてさしをきて穂
- 04 50 10 夢の内なるゆめのなかなる穂
- 04 50 11 心ちのみして心ちしてまた穂

- 04 50 11 ひかことひかことと穂
- 04 50 11 おほからむとおほかるらむと穂
- 04 50 12 かきみたりかきみたし穂
- 04 50 12 しもそしも穂
- 04 50 12 いといとと穂
- 04 50 12 そはめそらめ穂
- 04 50 12 いとナシ穂
- 04 50 12 御心さしのほとと御心さしほとと穂
- 04 50 13 故郷にふるさと穂
- 04 50 13 心ほそけなることとて心ほそきこととを穂
- 穂
- 04 50 14 けしきナシ穂
- 04 50 14 なこりなくすみわたりてなこりなくうらゝかにかすみわたりて穂
- 04 50 14 あまともあまも穂
- 04 51 01 人しけいとひはし給しかと人しけきをいとひはてたまひしかと穂
- 04 51 02 又ナシ穂
- 04 51 02 あはれなることおかしうもあはれなることと穂
- とらう力穂
- 04 51 02 よろつによろつのこと穂
- 04 51 02 なくさまるなくさむ穂
- 04 51 03 あかしの入道あるしの入道穂
- 04 51 03 いみしういといみしう穂
- 04 51 04 もてわつらひたるもてわつらひひてノ上カラヲ書ク力穂
- 04 51 04 かたはらいたきこちたき穂
- 04 51 04 もらしつれへきこゆ御心ちにもナシ穂

04 51-05 おかしときをき給し人なればおかしき事

にきをき給しかは穂

04 51-05 おほえなくておほえならしノ上カラエヲ書

ク「穂

04 51-06 あるにやとおほしなから猶かつにやなとお

ほしよりなから穂

04 51-07 たなるたならむ穂

04 51-07 おほさむもき給はんも穂

04 51-08 ことなし「こともなし穂

04 51-08 心はせありさまありさまの穂

04 51-10 へたゝりたるへたてたる穂

04 51-10 じものやしもや穂

04 51-11 みたてまつらまほしうみたてまつらまほし

く穂

04 51-11 あかすあかすめて穂

04 51-11 おもふ心をいかておもふころをも穂

04 51-12 仏神 神仏穂

04 51-12 はかりナシ穂

04 51-12 なりたれとなりたれと穂

04 51-13 あらまほしうあらまほしく穂

04 51-13 人のほと人のほと穂

04 51-14 ほれノしきをれノしき穂

04 51-14 ことをもしりてもの色めをもみしりて

穂

04 52-01 昔物かたりものかたり穂

04 52-01 き給にきたまふも穂

04 52-02 つれノ御つれノ穂

04 52-02 おほやけわたくし御いとまおほやけわたく

しのいとま穂

04 52-02 給はぬたまはざりし穂

04 52-02 ぶることくもくついで「ことくもをつく

しいて「きこゆ穂

04 52-04 事もまじることくもましれり穂

04 52-04 けたかうけたかく穂

04 52-05 心はつかしき心はつかしくをかしき穂

04 52-05 いひしかいへ穂

04 52-05 我おもふことは心のまににもえうちいてきこ

えぬをえおもふまにこのむすめのこと

うちいてきこえぬ事を穂

04 52-06 心もとなう心もとなく穂

04 52-06 ちおしとは「君といひあはせてなけくく

ちをしともきみもいひなけく穂

04 52-07 さうしみはをしなへてのさうしみもをなし

なへての穂

04 52-07 めやすきはナシ穂

04 52-07 世にはナシ穂

04 52-08 人も人も穂

04 52-08 みたてまつりしほのかにみたてまつりし

穂

04 52-09 かくかう穂

04 52-09 おもひあつかふをきくにももてあつかひた

まふにつけても穂

04 52-09 ことかなと思に「ことくをもふにも穂

04 52-10 なりぬなりぬれば穂

04 52-10 御さうそく御しやうそくなとつかうまつり

穂

04 52-10 御丁のかたひらなと御き丁のかたひらなに

くれと穂

04 52-11 しいてつゝしいてたりかく穂

04 52-11 つかうまつりいとなむをいとおしうすゝるな

りとつかうまつるもすゝるなるうちとけこ

と「穂

04 52-12 あくまでいとあくまで穂

04 52-12 思あかりたるさまのあてなるに思ひあかり

てなるに穂

04 52-13 京よりもうちしきりたる京より穂

04 52-13 御とふらひと御とふらひと穂

04 52-13 たゆみなくたゆるひなく穂

04 52-14 夕月夜にゆふつくよ穂

04 52-14 うみのうへうみのおもても穂

04 52-14 みえわたれるもみえわたりに穂

04 53-01 池水いけ水に穂

04 53-01 思ひまかへられ給にみえまかへられたまふ

て穂

04 53-01 いはむかたなくいはんかたなつ穂

04 53-01 こと「ことのみ穂

04 53-01 いつかたとなくいつかたとなつ穂

04 53-03 の給てのたまふて穂

04 53-04 ひさしうひさしく穂

04 53-05 てふれてもふれ穂

04 53-05 とりいてひきいて穂

04 53-05 御さまをみたてまつる人もやすからすねも

御ありさまも人のめもみも穂

04 53-06 かなしうかなしく穂

04 53-07 家もいゑるも穂

04 53-07 波水穂

04 53-08 わか人はわかき人のみには穂

04 53 08 このもかのものこのもかのものに穂
 04 53 09 しはふる人ももしわふる人もた穂
 04 53 09 えたへてナシ穂
 04 53 10 そむきにしおもひたまひすてし穂
 04 53 10 世の中も世を穂
 04 53 10 思ひいてぬへく侍り思ひいてられ侍りぬへ
 穂
 04 53 11 のちの世にのちのよの穂
 04 53 11 とこのありさまもところさま穂
 04 53 11 おもふ給へやらるゝ思たまへやらるゝ
 穂
 04 53 11 夜のよの穂
 04 53 12 なくなくナシ穂
 04 53 12 御心にも御心なかも穂
 04 53 13 さまに時／＼につけてさまなるにつけても
 穂
 04 53 13 めてられ給しありさまほめられたてまつり
 し穂
 04 53 14 たてまつりてたてまつり穂
 04 53 14 たてまつり給しをたまひしありさまの
 穂
 04 54 01 我御身のありさまもわかうえも穂
 04 54 01 おほしいてられて夢の心ちし給まゝにおほ
 しいてられたまふまゝに穂
 04 54 01 かきならし給へるこゑもかきならしたまふ
 ことのねも穂
 04 54 02 きこゆるきこゆる穂
 04 54 02 人はとしふる人はさらに穂
 04 54 02 ひわ笙のことしやうのひは穂

04 54 03 入道入道は穂
 04 54 03 おかしうめつらしきめつらしう穂
 04 54 03 ひきたりひきいてたり穂
 04 54 04 さうの御ことしやうの御こと穂
 04 54 04 ひき給もひきたまふにも穂
 04 54 04 のみナシ穂
 04 54 05 いとナシ穂
 04 54 05 おりからこそはところからは穂
 04 54 05 まさるものなるをまさるものを穂
 04 54 06 とほほりなきとほほりもなき穂
 04 54 06 海つらなるにうみつらにぞらもほとなく
 穂
 04 54 06 さかりなるよりはさかりよりは穂
 04 54 07 そはかとなうそはかとなく穂
 04 54 07 かけともかけとも穂
 04 54 07 うちたきたるうちなきたる穂
 04 54 08 哀におほゆきこえてあはれおほかり穂
 04 54 08 いとなういときなう穂
 04 54 08 いることをもきこゆることゝんを
 穂
 04 54 08 いとナシ穂
 04 54 09 ひきならしたるもてならしてうるはしうし
 らへたるまはノ上カラもヲ書ク穂
 04 54 09 なつかしきさまにてナシ穂
 04 54 09 しとけなうひきたるしとけなけにひきなし
 たる穂
 04 54 10 入道は入道穂
 04 54 10 あひなくあいなう穂
 04 54 11 さまなるは女は穂

04 54 11 いつこのかいつくにか穂
 04 54 11 なにかしナシ穂
 04 54 12 したい三たい穂
 04 54 12 かうつたなきたつきなき穂
 04 54 12 ことはことん穂
 04 54 12 すてわすれ侍めるをすてわすれて侍を
 穂
 04 54 13 あやしうナシ穂
 04 54 14 侍こそしねむに侍をなん穂
 04 54 14 せむ大王前わう穂
 04 54 14 かよひて侍れしねんにかよひて穂
 04 54 14 まつかせをまつかせに穂
 04 55 01 きわたし侍にやあらんきわたしたるに
 やはんへらん穂
 04 55 01 これもこれ穂
 04 55 02 きこゆるまゝにいふまゝに穂
 04 55 02 うちわなきてうちわなきぬ穂
 04 55 02 聞給ましかりけるきゝいれたまふましかり
 ける穂
 04 55 03 ねたきねたかりける穂
 04 55 03 給にたまふ穂
 04 55 03 ひきとる心ことにひきとる穂
 04 55 04 女五の宮女五の宮の穂
 04 55 04 世のなかのよの穂
 04 55 04 物し給けるをものし給ける穂
 04 55 05 その御すちにてとりたてゝかの御そつに
 穂
 04 55 05 すへてたゝいま世に名をとれる人ノかきな
 ての心やりはかりにのみあるをたゝかきな

明石(穂)

- 04 55 06 かうナシ穂
- 04 55 06 ひきこめひきこめ穂
- 04 55 06 給へりけるたまひえりけるは穂
- 04 55 07 けうらう穂
- 04 55 07 きこしめさむにはきこしめさんは穂
- 04 55 08 おまへ御まへ穂
- 04 55 08 あき人のなかにてあき人 中にて穂
- 04 55 08 たにナシ穂
- 04 55 08 ふることふることは穂
- 04 55 09 人は人穂
- 04 55 09 まことのまことに穂
- 04 55 09 ひきしつむるしつむる穂
- 04 55 09 いにしへもかたう侍しをかたう侍しをいにしへも穂
- 04 55 10 ことなうことなく穂
- 04 55 10 なつかしきてなとなつかしきまで穂
- 04 55 11 浪のこゑにまじるはまみのうへにまじりたるも穂
- 04 55 11 かなしくもかなしく穂
- 04 55 11 おもふ給へられながら思たまへられ穂
- 04 55 11 物なけかしさものなけかしさも穂
- 04 55 12 おりノもをりも穂
- 04 55 12 侍りなと侍なとトルカ穂
- 04 55 12 すきぬたればしつノとすきぬたれば穂
- 04 55 12 さつのこととりかへてしやうのことをかへて穂
- 04 55 13 たまはせたりたまへり穂

- 04 55 13 いとすくしてかいひきたりことにかひきたり穂
- 04 55 14 すちすちなと穂
- 04 55 14 てつかひてつかひなと穂
- 04 55 14 いたうナシ穂
- 04 55 14 からめきからめいたり穂
- 04 55 14 ふかういたう穂
- 04 56 01 こゑよき人こゑある人穂
- 04 56 01 われも時ノ拍とりてこゑうちそへ給をひやつとりてわれも時ノあはせ給を穂
- 04 56 02 ことを穂
- 04 56 02 ひきさしつめてひきさしつめて穂
- 04 56 03 めつらしきめつらしき穂
- 04 56 03 さまにてまいらせ人ノにさけしひそしなとしてナシ穂
- 04 56 03 物わすれしぬへきものわすらぬへき穂
- 04 56 04 夜のさまよ穂
- 04 56 04 いたくいたう穂
- 04 56 04 すしうてすしう穂
- 04 56 04 なるまゝになりて穂
- 04 56 05 しつかなるいとしつかなる穂
- 04 56 05 のこりなくのこりなう穂
- 04 56 05 きこえてきこえて穂
- 04 56 05 すみはしめしほとのすみそめ侍りし穂
- 04 56 06 後の世をのちの世のことを穂
- 04 56 06 さまさまなと穂
- 04 56 06 かきくつきかきつくし穂
- 04 56 06 きこえてきこえたまふ穂

- 04 56 07 きこゆきこゆる穂
- 04 56 07 おかしきものさすかにをかききものから穂
- 04 56 07 ふしふしノ穂
- 04 56 07 あはれとあはれとも穂
- 04 56 08 事なれと事に侍つれと穂
- 04 56 08 わかきみあかきみ穂
- 04 56 08 かうかく穂
- 04 56 08 おほえなきおほせぬ穂
- 04 56 09 いのり申侍願し侍事穂
- 04 56 09 神仏 仏神穂
- 04 56 09 あはれひおはしましてあはれみ給て穂
- 04 56 10 おもふたまふるおもひたまふる穂
- 04 56 11 すみよしのかみすみよしの明神穂
- 04 56 11 この十八年になり侍ぬ 拾捌年ヨイ力穂
- 04 56 12 めのわらはめのわらはの穂
- 04 56 12 いとぎなういとぎなく穂
- 04 56 12 春秋ことに春秋穂
- 04 56 13 御やしろみやしる穂
- 04 56 13 まいることなむ侍まうつる事をなむし侍穂
- 04 56 13 ひるよるのひるよる穂
- 04 56 13 六時のつとめに六時のつとめを穂
- 04 56 14 はちすのうへのねかひニのねかひ穂
- 04 56 14 さるものにてのちの事にし穂
- 04 56 14 たかきほいおもふほいたかきねかい穂
- 04 57 01 つたなくてつたなくして穂
- 04 57 01 こそかくちおしきナシ穂
- 04 57 02 侍けめ侍けめとおのつから穂

04 57 02 たまへりき たまひき穂
 04 57 02 なりにて侍り なり侍りて穂
 04 57 03 かなしくいとかなしく穂
 04 57 04 これはナシ穂
 04 57 04 ときナシ穂
 04 57 04 いかにしていかにして穂
 04 57 04 たてまつらんと思ふ心 たてまつらむのおも
 ひ穂
 04 57 05 ほと／＼につけて ほとにつけては穂
 04 57 05 かねみをおひそねみもおほく思ひ侍り
 穂
 04 57 06 みのためからぎめをみる 身のためにからぎ
 めみる穂
 04 57 06 くるしみとおもひ侍らす くるしみを思ひた
 まへす穂
 04 57 07 衣にもころもにも穂
 04 57 07 はく／＼みつ／＼み穂
 04 57 07 かくなからかうなから穂
 04 57 07 みすて侍なはすて／＼まかりかくればへりな
 は穂
 04 57 07 浪のなかにもまじりうせねとなみのあはに
 てきえうせねと穂
 04 57 08 をきて侍なとおきて侍穂
 04 57 08 こと／＼も穂
 04 57 09 うちなきうちなき うちなきつ／＼穂
 04 57 09 おりからはをりは穂
 04 57 09 うち涙くみつ／＼きこしめす なみたくまれた
 まふこともまじる穂
 04 57 10 つみあやまるさ／＼さ力穂

04 57 10 思かけぬ おほえぬ穂
 04 57 10 た／＼よふも たより侍は穂
 04 57 11 つみにかとむくひにと穂
 04 57 11 思ひつる 思ひ侍を穂
 04 57 11 こよひの御物かたりにこの御物かたりに
 穂
 04 57 11 き／＼あはすればき／＼あはせ侍は穂
 04 57 12 けにあさからぬさきの世のちきりにこそは
 と神の御するへむかしの契あさからぬ事に
 なんと穂
 04 57 12 かくかう穂
 04 57 13 つけ給はさりつらむ つけたまはさりける
 穂
 04 57 13 都宮こそ穂
 04 57 13 時程穂
 04 57 13 つねなきもつねのさまも穂
 04 57 14 あちきなういとあちきなうて穂
 04 57 14 おこなひよりほかの事なくてナシ穂
 04 57 14 心もみなころろは／＼かりなつヨイ力穂
 04 58 01 ほのほのかに穂
 04 58 02 思ひくしつるをくしにける穂
 04 58 02 さらはさらは又をなしうこそ穂
 04 58 02 給へきにこそあなれ たまふへかめれ穂
 04 58 03 ひとりね ひとりすみ穂
 04 58 03 給をのたまふ穂
 04 58 04 ひとりねはひとりねて(は)穂
 04 58 05 おもひ給へわたる おもひわたる穂
 04 58 05 給へとたまへなと穂
 04 58 05 けはひ けはひなとの穂

04 58 05 うちわな／＼きたれとさすかにゆへなからさ
 れとわな／＼きさまをかしと穂
 04 58 06 給へらむ たまへる穂
 04 58 07 草の枕はくさのまくらに穂
 04 58 07 うちみたれ給へる御さまはうちみたれたま
 へは穂
 04 58 08 いとそいと穂
 04 58 08 事ともこと／＼もを穂
 04 58 09 きこえつくしたれと きこえつくせと穂
 04 58 09 うるさしや／＼うるさし穂
 04 58 09 ひかこと／＼もにひかことに穂
 04 58 10 かつ／＼かす／＼穂
 04 58 11 す／＼しうナシ穂
 04 58 11 思ひぬるにおもひたるに穂
 04 58 11 ひるつかたくれつかた穂
 04 58 12 さまなめるも けはひなるも穂
 04 58 12 くまにそくまこそ穂
 04 58 12 こともこもるへかめるとものはこまれる
 穂
 04 58 13 心つかひ 御心つかひ穂
 04 58 13 ひきつくろひて ひきつ／＼み給て穂
 04 59 01 入道も 入道穂
 04 59 01 きゑたりける いたりける穂
 04 59 02 ゑはすもてなしえはす穂
 04 59 02 御返 御かへり穂
 04 59 02 ひさし ひさしくなりぬ穂
 04 59 02 そ／＼のかせとそ／＼のかせとん穂
 04 59 03 むすめは むすめ穂
 04 59 04 つ／＼まし つ／＼ましう穂

04 61 07 ましきことゝましきを穂
 04 61 08 めみあはせみあはせ穂
 04 61 08 御め御めに穂
 04 61 09 かきりなくかきりなう穂
 04 61 09 おほきおとゝ大をとゝ穂
 04 61 09 うせ給ぬうせさせ給穂
 04 61 10 つきノゝにつきノ穂
 04 61 10 あるにあり穂
 04 61 11 そはかとなくそこはかとなく穂
 04 61 11 わつらひなやみわつらひ穂
 04 61 11 よはり給やつなるよはりたまふ穂
 04 61 12 なを此ナシ穂
 04 61 12 おかしなきにてかくしつむならばをかしなきにては穂
 04 61 13 このことの穂
 04 61 13 ありなんとむをひなんと力を「穂
 04 61 14 世のとききさきかたきさめきこえたまふよのときもかたノ穂
 04 61 14 なるへしなり穂
 04 61 14 おちてをち穂
 04 62 01 さりしさにし穂
 04 62 01 三ねんをたに三年に穂
 04 62 02 つたへナシ穂
 04 62 02 きさきかたきさめ給にきこえはへるも穂
 04 62 03 御なやみとも御なやみいろノ穂
 04 62 03 をもりまさらせ給なやみまさりたまふ穂
 04 62 03 浜風のは風の穂

04 62 04 物わひしうてわひしくおほされて穂
 04 62 04 おりノナシ穂
 04 62 04 かたらはせ給かたらひたまふ穂
 04 62 05 とかくとかう穂
 04 62 05 わたり給はむことをはわたりたまはむとは「ニアルカ」穂
 04 62 05 あるまじうあるましく穂
 04 62 05 おほしたるをほしたり穂
 04 62 06 さらにさやうに穂
 04 62 06 思たつへくもあらずいてたつへくも思ひたゝす穂
 04 62 06 ムキ「は」のナシ穂
 04 62 07 こそなとこそ穂
 04 62 07 くだりたるくだれる穂
 04 62 07 うちとけことにつきてうちつけことにつけて穂
 04 62 07 さやうにナシ穂
 04 62 07 かたらふわさをもすなれかたらひをもするものなれ穂
 04 62 08 人数にもひとかすに穂
 04 62 08 おほされさらんおほざらん穂
 04 62 09 かくかう穂
 04 62 09 をよひなきいみしきをよひなき穂
 04 62 09 心こと穂
 04 62 09 あいなたのみにあいなたのみ穂
 04 62 10 思ひておもひつゝけて穂
 04 62 11 かくるよその穂
 04 62 11 はかりをはかり穂
 04 62 11 きこえかはさむきこえかはす穂

04 62 11 をろかならねをろかならぬことなれ穂
 04 62 12 ほのかにもほのかに穂
 04 62 13 御すまゐにて御すまゐを穂
 04 62 13 ほのかにもほのかに穂
 04 62 13 みたてまつりき(見)たてまつり穂
 04 62 13 物ときつたへしものにきゝたてまつりし穂
 04 62 14 御ありさま御ありさまをも穂
 04 62 14 おほつかなからておほつかなからす穂
 04 63 01 かくまでかうまで穂
 04 63 01 なとナシ穂
 04 63 01 なかに中に穂
 04 63 02 身にみには穂
 04 63 02 おもふにいよゝはつかしうて露も思にもはつかしうていよゝ穂
 04 63 02 思ひよらすおもひもよらす穂
 04 63 02 こゝらのこゝら穂
 04 63 02 いのりのねかひ穂
 04 63 04 おほしおほしも穂
 04 63 04 なけきをかなけきを「アルカ」穂
 04 63 04 思やるにゆゝして思ひつるに穂
 04 63 05 哉かなと穂
 04 63 05 めにもめに穂
 04 63 06 仏神神仏穂
 04 63 06 さらすはかひなくこそなになくさめむ穂
 04 63 08 つねはつねに穂
 04 63 08 とかくかう穂

明石(穂)

04 63 08 思ひわつらぶをきゝいれす おもひわつらぶ
 もきゝいれて穂
 04 63 09 なんとにたにしらせず なんとにもしらせて
 穂
 04 63 09 たちぬかゝやくはかりしつらひて かゝやく
 はかりたちぬしつらひ穂
 04 63 10 十三日の月の 十三日の月穂
 04 63 10 あたら夜のと あたらよのと トルカ穂
 04 63 10 きこえたり 御せうそきこえたり穂
 04 63 10 君は ナシ穂
 04 63 11 御なをし 御なをしなと穂
 04 63 11 たてまつり たてまつりて穂
 04 63 11 夜ふかして 夜ふかくして穂
 04 63 11 いて給 いてたちたまふに穂
 04 63 12 になく になう穂
 04 63 12 つくりたれと つくりたる穂
 04 63 12 御むまにて出給 御むまなり穂
 04 63 12 さふらはせ給 候はせ給に 候力「穂
 04 63 13 いる所なりけり 行ところなりければ穂
 04 63 13 みちの程も みちの程は は力「穂
 04 63 13 浦ノヽつらノヽを穂
 04 63 13 みわたし給て みわたらせ給て穂
 04 63 13 おもふとち おもひとち穂
 04 63 14 月影にも 月かけも穂
 04 63 14 人の御事を 人ノヽ穂
 04 63 14 思ひ出きこえ給に 思ひいられたまふ
 穂
 04 64 01 おほす おほえ給穂
 04 64 02 雲ぬをかけれくもぬの(を)かけれ穂

04 64 02 みんと みん穂
 04 64 02 うちひとりこたれ給 うちひとりこちたまふ
 けに穂
 04 64 03 こふかく こふかう穂
 04 64 03 まさりてさまにて穂
 04 64 03 見所ある けうある穂
 04 64 03 うみのつらは うみつらはたゝ穂
 04 64 04 おもしろく ナシ穂
 04 64 04 さまさまにて穂
 04 64 04 思ひのこす おもひいつる穂
 04 64 05 あらしと あらしかしと穂
 04 64 05 おほしやらるゝに すむらん人もおもひやる
 に穂
 04 64 05 ちかくて ちかうて穂
 04 64 05 かねの声 かねの声なと穂
 04 64 06 物かなしうものかなしくて穂
 04 64 06 さまなりさまに穂
 04 64 07 ともにとも穂
 04 64 07 虫のこゑをむしのこゑノヽをノヽアル力「
 穂
 04 64 07 ありさま さま穂
 04 64 07 御覧す 御らんしす し力「穂
 04 64 08 みかきて みかきたて穂
 04 64 08 戸くちとくちさへ穂
 04 64 08 けしきはかりけしきことに穂
 04 64 09 かうまては かうまて穂
 04 64 09 思に 思ふに力「穂
 04 64 10 心さま けしき穂
 04 64 10 ことなうも こよなも穂

04 64 10 人めきたる 人めける穂
 04 64 11 あらす あらて穂
 04 64 11 かく かう穂
 04 64 12 やつれたるに やつれたる 穂
 04 64 12 おほしなやめり おほしなやめる穂
 04 64 13 まけんこそ まけんも穂
 04 64 13 人わろけれなと 人わらへになとさまノヽ
 穂
 04 64 14 給さま たまふを穂
 04 64 14 ちかき ナシ穂
 04 65 01 さつこのこと 生のことほかに穂
 04 65 01 しとけなくしとけなう穂
 04 65 02 程 ほとゝ穂
 04 65 02 みえて おほえて穂
 04 65 02 この ナシ穂
 04 65 02 きゝならしたる きゝなし穂
 04 65 02 さへやなと さへと穂
 04 65 05 心には 心には穂
 04 65 06 けはひ こゑけはひ穂
 04 65 06 あたりけるを いたりけるに穂
 04 65 07 かう かく穂
 04 65 07 わりなくて わりなうて穂
 04 65 07 さうしのうち しゃうしの中穂
 04 65 07 入て こゝろとくいりて穂
 04 65 08 かためけるにか かためたるにかあらん
 穂
 04 65 08 さのみもいかてかあらむ いかてかはさのみ
 は穂
 04 65 09 人さま 人のさま穂

04 65 09いとナシ穂

04 65 09そひへてそひえて穂

04 65 09けはひけ穂

04 65 09かうかく穂

04 65 09あなちなりけるあなちなる穂

04 65 10ちかまさりちかさまさり穂

04 65 11夜のなかさよのほと穂

04 65 11とく明ぬる心ちすればあかすあけぬれば

穂

04 65 11人にしられしとおほすも心あはたしつてこ

まかにかたらひナシ穂

04 65 13けふはけふ穂

04 65 13あひなきあえなき穂

04 65 13こゝにもかゝることいかてみにもいかてか

ゝる事穂

04 65 14御つかひ御つかひをも穂

04 65 14ことごとじうももてなさをことゝしう

もてなさをおやたち穂

04 65 14むねいたくむねいたう穂

04 66 01しのひつゝいとしのひて穂

04 66 01時ノおはすときノそおはする穂

04 66 02あまのこもやたちまじらんあまのこもゝ

やましむ穂

04 66 02おほしはゝかる程をおほしつゝむを穂

04 66 02思ひなけきたるを思ひなけきたり穂

04 66 03ねかひむかへ穂

04 66 03たゝナシ穂

04 66 03まつことにはすまつことにはいかならんとの

み穂

04 66 04みたるもみるも穂

04 66 04二條の君二条の院の君穂

04 66 05給はむ事はたまはむに穂

04 66 05ありけるとありけりと穂

04 66 05たてまつらんたてまつらんは穂

04 66 06こゝろくるしうはつかしう心はつかしう

穂

04 66 06御心さしのほとなりかし御心さしなめりか

しさすかに穂

04 66 07ことをは事を穂

04 66 07さすかにナシ穂

04 66 07心とゝめてこゝろにしめて穂

04 66 07給へりしたまひし穂

04 66 07なとてあやなきなとあはれに穂

04 66 08すさひことすさみ事穂

04 66 08つけてもつけてかりにても穂

04 66 09かたゝこの穂

04 66 10かき給てかき給ておくり穂

04 66 10心よりほかなる心よりほかの穂

04 66 10猶ざりことにてなをざりことにても穂

04 66 11ふしゝをおりゝ穂

04 66 11思出さへおもひいつるにさへ穂

04 66 11ものはかなきはかなき穂

04 66 12とはすかたりにとはすかたりにても穂

04 66 12心の程は心の程を穂

04 66 13かきてかきかきて穂

04 66 14すさひなれともすさみなれとん穂

04 66 14とあるとありある穂

04 67 01御返御かへし穂

04 67 01なに心なくらつたけになにこゝろもなうら

うたう穂

04 67 01かきてかきてはしに穂

04 67 01思ひあはせらるゝことおほかるをおもひた

まへあはする事はおほくなま力穂

04 67 03こえし物そとこえしもの穂

04 67 04うちをきかたくうちをきかたう穂

04 67 04ひさしうほとふるまで穂

04 67 05しのひの旅ねもしのひねも穂

04 67 05しるきにしるく穂

04 67 07身と身にかと穂

04 67 07思はさりしかとおもひとりしかと穂

04 67 07そこはかとなくてそこはかとなう穂

04 67 07すくしするすくしする穂

04 67 08なにことをか心をも何事をこゝろを穂

04 67 08かうかく穂

04 67 08世身穂

04 67 09をしはかり思ひしよりをしはかりしより

も穂

04 67 09よろつによろつ穂

04 67 10あはれとはいとあはれと穂

04 67 10おほしませとおほしなせと穂

04 67 11すくし給ひすくすか穂

04 67 12心くるしければこゝろくるしくて穂

04 67 12ひとりふしかちにてひとりねかちにて

穂

04 67 12すくし給えをすくし給を穂

04 67 12かきあつめてかきあつめ給て穂

04 67 13ことゝもを事とも穂

明石(穂)

- 04 67 13 大きくへききこゆへき穂
- 04 67 13 しなし給へりし給へり穂
- 04 67 13 人の人穂
- 04 67 14 さまなりさま哉穂
- 04 67 14 いかてかいかて穂
- 04 67 14 物あはれに物のあはれに穂
- 04 68 01 方なくかたなう穂
- 04 68 01 おり／＼おりのつれ／＼は穂
- 04 68 01 かきあつめ給つゝやかて集石集力穂
- 04 68 01 御ありさま御ありさまの穂
- 04 68 02 にぎのやうにかき給へり日記をそやかてかきつけ給ける穂
- 04 68 02 御さま御さうし穂
- 04 68 02 かはりぬかえりぬ穂
- 04 68 03 さま／＼にさま／＼穂
- 04 68 03 御こみこ穂
- 04 68 03 むすめ御むすめ穂
- 04 68 04 承香殿の女御の承香殿ときこゆる穂
- 04 68 04 おとこみこをとこは穂
- 04 68 04 給へるたまへり穂
- 04 68 05 御うしろみをし御うしろみをし穂
- 04 68 05 世をまつりこつへき人を世中したゝむへき人穂
- 04 68 06 おほしめくらすにおほしまはすにも穂
- 04 68 06 このナシ穂
- 04 68 06 かくナシ穂
- 04 68 07 ゆるされ給へきため返のほり給へき御ゆるされ穂

- 04 68 08 后も御物のけなやみ給いきさき御ものけにやみたまふ穂
- 04 68 08 物のさとしゝきりものゝ御さとしなとうちしきり穂
- 04 68 09 ともナシ穂
- 04 68 09 し給するしにやせさせ給へといかなるかつきころ穂
- 04 68 09 よろしうおはしましけるよろしうはをしましつる穂
- 04 68 10 をもくならせ給てをもりなやませたまひて穂
- 04 68 10 物心ほそくもの心ほそう穂
- 04 68 11 京へかへり給へき旨言くたるせんしくたりて京へ返たまふ穂
- 04 68 11 おもひしかとおほししかと穂
- 04 68 12 かつかく穂
- 04 68 13 おほしなけくにあはれにおほす穂
- 04 68 13 事とこととはことほ穂
- 04 68 14 おほゆれとおもへと穂
- 04 69 01 こそはこそ穂
- 04 69 01 そのころはよかれなくそのほとより心とめて穂
- 04 69 02 はかりナシ穂
- 04 69 02 心くるしきけしきありて心くるしけにけしきつきて穂
- 04 69 02 ほとなれはほとにて穂
- 04 69 03 ありしよりも哀におほしてありしよりけにおほしそふるに穂
- 04 69 03 あやしうあやしうも穂

- 04 69 04 有けるある穂
- 04 69 04 おほしみたるなけきたまふ穂
- 04 69 04 おもひしつみたりおもひほれたり穂
- 04 69 05 ことほりなりやことほりなり穂
- 04 69 05 いてたち給しかといて給しかとさりとも穂
- 04 69 06 方のたひの穂
- 04 69 06 御いてたちの御いてたちなれと穂
- 04 69 07 あはれなりあはれなる事つきせず穂
- 04 69 07 人／＼ほと／＼に人／＼もほとに穂
- 04 69 08 京よりも宮よりはさりぬへき人穂
- 04 69 08 人／＼まいりまいりなと穂
- 04 69 08 入道しほちはたゝ穂
- 04 69 09 心つから心から力「穂
- 04 69 10 身を身をも穂
- 04 69 10 さま／＼にきしかたゆくさきさま／＼穂
- 04 69 10 おほしみたれたるをおほしみたるゝを穂
- 04 69 10 心しれる人／＼は御心しれるとちは穂
- 04 69 11 あなにくナシ穂
- 04 69 11 みたてまつりナシ穂
- 04 69 11 露いつくへならんと穂
- 04 69 11 けしきけしきも穂
- 04 69 12 はひまきれなし給へるはかなくまきれなし給て穂
- 04 69 12 つれなさをつれなかりつる御けし「ヨイカ」穂

04 69 12 あやにくに中ノのあやくなる中ノゆる
カ₁穂
04 69 13 心つくしにかとつきしろぶ心つくしなりや
とつきしろつに穂
04 69 13 さゝめきあへるをさゝめきあへる穂
04 69 14 いたくもいたつも穂
04 70 01 わたり給へりゆふくれのまきれにわたりた
まへり穂
04 70 01 さやかにもまたまたさやかにも穂
04 70 01 よしノしうよしノしくて穂
04 70 02 さましてさましても穂
04 70 02 めさましうもナシ穂
04 70 02 みすてかたくみすてんことん穂
04 70 03 さるへきさりぬへき穂
04 70 03 さやうにそさやうにこそ穂
04 70 04 ありさまはたナシ穂
04 70 04 さらにもしはすいとさらなりや穂
04 70 04 いたくいたつ穂
04 70 05 給へる給にたる穂
04 70 05 いふかたなくめてたき御ありさまにていと
いふよしなくきよけにて穂
04 70 05 心くるしけなるけしきにうち涙くみつゝ心
くるしけにうちなみたくみて穂
04 70 06 あはれふかく契給へるはあはれにふかきち
きりをしたまへは穂
04 70 07 まてそみゆめれとこそはみゆれ穂
04 70 07 我身の程をおもふもつきせすわかみのほど
かきあつめ思にもつきせす穂
04 70 08 秋の風秋かせ穂

04 70 09 なりなりかし穂
04 70 10 とのたまへはをんな穂
04 70 12 おもひにもおもふにも穂
04 70 13 うちなきてうちなきつゝ穂
04 70 13 きこゆナシ穂
04 70 14 物のねなど物のねも穂
04 71 01 うらみ給すみわたり給穂
04 71 01 さらはさらにかくてや穂
04 71 01 の給てのたまふて穂
04 71 01 もてをはしたりしもたせたまひし穂
04 71 02 きん 琴穂
04 71 02 心 ナシ穂
04 71 03 ふかき夜ふかきよ穂
04 71 03 たとへんかたなしさらにとへん物なし
穂
04 71 03 さうのこととりて手つから筆の御こととり
て穂
04 71 04 いとゝナシ穂
04 71 04 とゝむへきとゝめん穂
04 71 05 上すめきたり上手めけり穂
04 71 06 たゝいまのたゝいまのよに穂
04 71 06 又なき物に又なき物と穂
04 71 06 思ひきこえたるはおもひきこえたんめり
穂
04 71 06 あなめてたあなおもしろ穂
04 71 07 さへいと穂
04 71 08 あくまでまことにあくまで穂
04 71 08 ひきすましひきすましよしある穂
04 71 08 ねすすちに穂

04 71 09 はしめてしめて穂
04 71 09 また又トルカ₁穂
04 71 09 ひきさしつゝひきさしつ穂
04 71 10 おほさるゝにもおほさるゝに穂
04 71 10 なとしめてもなとしてしひても穂
04 71 10 くやしうおほさるくやしきにまたゝ穂
04 71 10 心のかきり心のゆくかきり穂
04 71 11 のみ ナシ穂
04 71 11 きん 琴穂
04 71 12 のたまふのたまへは穂
04 71 13 したのはんしのはんと穂
04 71 14 くちすさひくちすさみ穂
04 72 01 中のをの 中の絃の 絃力₁穂
04 72 02 給めりたまふへかんめり穂
04 72 02 わりなさわりなき穂
04 72 03 いと ナシ穂
04 72 03 夜ふかくよふかく穂
04 72 04 人ノも人ノゝなど穂
04 72 04 空なれとそらにて穂
04 72 04 人まをはからひてひとめはゝかりたまふ
穂
04 72 04 人まをはからひてひとめはゝかりたまふ
穂
04 72 05 うちすてゝたつもかなしきつら波のなこりい
かと思ひやるかな御返 ナシ穂
04 72 06 身をたくへまし身をたくえませへノ上カラ
えう書ク₁穂
04 72 07 み給に ナシ穂
04 72 07 人ノゝは人は穂

明石(穂)

04 72 08 御すまひなれとさまにても穂
 04 72 08 としころといふはかり年月穂
 04 72 08 なれ給へるをなれたまふ御すまぬを穂
 04 72 08 おほすおもほす穂
 04 72 09 かしなとかしと穂
 04 72 09 などはなと穂
 04 72 09 なむめりかしとなめりと穂
 04 72 10 にくそ思にく覚ゆ穂
 04 72 10 かきりにかきりにて穂
 04 72 11 哀かりてあはれにて穂
 04 72 11 しほたれいひあへるうちしほたれいひたる穂
 04 72 11 あめりあり穂
 04 72 12 御まつけいと御まつけのこと穂
 04 72 12 旅ねのさつそくめつじつさまなりめつら
 04 72 13 しあへけむしあつめけん穂
 04 72 14 いふへくもあらずいふへくもあらずしかさ
 04 72 14 かけたまはずかけて候はず穂
 04 72 14 しつへき御をくり物ともゆへつきてしつへ
 04 73 01 くまなしくまなうて穂
 04 73 01 かりの御さつそくに御しやつそくに穂
 04 73 03 よる波によるなみの穂
 04 73 03 御覧しつけてさはかしけれとさはかしけれ
 04 73 05 中のころもとてなかのころもを穂
 04 73 06 ともををは穂

04 73 06 ひとへひとしほ穂
 04 73 07 したのはれ給へきしのはるへき穂
 04 73 07 そふるそへたまふヨイカ穂
 04 73 07 形見なめりかたみになめり穂
 04 73 07 御そにほひのうつりたるを御にほひのう
 04 73 08 つかるを穂
 04 73 08 いかゝいかゝは穂
 04 73 08 いまはと世をこのよ穂
 04 73 08 身なれともみなれは穂
 04 73 09 御をくりに御をくりを穂
 04 73 09 かひをまもなくかいを穂
 04 73 09 いとをしなからわかき人はわらひぬへしひ
 04 73 11 猶このきしを猶このつらを穂
 04 73 11 えこそはなれねえこそはなれねわ力穂
 04 73 11 心のやみは心のやみに穂
 04 73 12 まとひぬへく侍ればまとひ待ぬへければ
 04 73 12 きこえていひて穂
 04 73 12 すき／＼しきさまなれとすき／＼しきなれ
 04 73 13 おり侍らはことんあらは穂
 04 73 13 など御けしき給はるいみしう物を哀と」な
 04 73 14 御まみ御まゆ穂
 04 73 14 いはむかたなくいとめてたう穂
 04 73 13 おほしておほしたる御けしきにて穂
 04 73 14 御まみ御まゆ穂
 04 73 14 いはむかたなくいとめてたう穂

04 74 01 あめればあんめれば穂
 04 74 01 いとくナシ穂
 04 74 01 みすてかたけれいとすきかたけれ穂
 04 74 04 物おほえす物もおほえす穂
 04 74 04 しほたれまさるたちぬもたちいるとても
 04 74 04 よろほふよろほえる穂
 04 74 04 さつしみの心ちましてさつしみの御ころ
 04 74 05 なくてなうて穂
 04 74 05 身のうきをもとにてわりなきことなれと身
 04 74 06 やるかたなきにわりなきおもかけにそひて
 04 74 07 ことゝはことゝては穂
 04 74 07 たゝナシ穂
 04 74 07 しつめりしつみたり穂
 04 74 07 なくさめわひてはなくさめわひて穂
 04 74 08 思ひそめけむ思ひそめて穂
 04 74 08 したかひけるしたかひそめける穂
 04 74 08 心のナシ穂
 04 74 08 をこたりそとをこたりと穂
 04 74 09 こともことゝ去ゝ力」穂
 04 74 09 物し給めれば」毛」のしたまへは穂
 04 74 10 御ゆなをたにゆなと穂
 04 74 10 あなナシ穂
 04 74 11 母君はゝ穂
 04 74 11 心をことを穂
 04 74 11 いかてナシ穂

04 74 12 すくしすくして穂
 04 74 12 思かなふおもひのかなふ穂
 04 74 12 たのみまち穂
 04 74 13 心くるしき事をもちうきことを穂
 04 74 13 物はしめにものゝはしめに穂
 04 74 13 みるかなとおもふかなと穂
 04 74 13 みるにもみるに穂
 04 74 13 いとおしければいとほけられていとほれ
 /ゝしくて穂
 04 74 14 日々とひいをのみひゝとひを穂
 04 75 01 行ゑもゆくゑをたに穂
 04 75 01 とてナシ穂
 04 75 01 あふきあたりさしあふきあたり穂
 04 75 01 てしともにてしとんに穂
 04 75 01 あはめられてあらめれて穂
 04 75 02 入にけりいりて穂
 04 75 03 こしもこし穂
 04 75 03 なんすこし物ナシ穂
 04 75 04 わたりてわたり給て穂
 04 75 04 たいらかにてたいらかに穂
 04 75 05 みつからはこのたひ御身つからは穂
 04 75 06 なとナシ穂
 04 75 06 なくてなうて穂
 04 75 07 宮この人も宮このうちの人も穂
 04 75 07 御との人御ともの人穂
 04 75 07 ゆきあひゆきあひて穂
 04 75 07 よろこひなきともよろこひなきも穂
 04 75 08 かひなき物にかひなきまで穂
 04 75 08 おほしすてつるおほしつみつる穂

04 75 08 うれしううれしと穂
 04 75 09 いとうつくしけにいとんうつくしけにて穂
 穂
 04 75 09 御物思ひのものおほしける穂
 04 75 10 いみしういと穂
 04 75 11 おちあるにつけてはをちいるにも穂
 04 75 11 心くるしう心くるしと穂
 04 75 12 かたにてかたにつけて穂
 04 75 12 いとまそいとま穂
 04 75 12 そのかの穂
 04 75 12 ことゝもなとことん穂
 04 75 13 おほしいてたる御けしきあさからすみゆる
 を御けしきのあさはかならすおもひやりた
 まへるさまを穂
 04 75 14 わさとならずわさとならねと穂
 04 75 14 ほのめかし給そほのめかしいてたまふ
 穂
 04 75 14 をかしうらうたくおもひきこえ給ナシ
 穂
 04 76 01 御さま御ありさま穂
 04 76 02 年月としころ穂
 04 76 02 おもほすにおほすに穂
 04 76 02 世中もいとゝ世中穂
 04 76 02 なんなんならなることかな穂
 04 76 02 ほともなくほともへす穂
 04 76 03 御位御くらゐに穂
 04 76 03 なり給なりたまへり穂
 04 76 04 かきりナシ穂
 04 76 04 世にゆるさるゝよのさかゆる穂

04 76 05 あへるあふ穂
 04 76 05 めしありて内にまいる給うちまいたま
 へるにやかてめしありて穂
 04 76 05 御前御せん穂
 04 76 05 給にたまふ穂
 04 76 06 ねひまさりていかていとねひまさりて
 穂
 04 76 06 みたてまつるみたてまつるよりすゝろにか
 なしうて穂
 04 76 07 御時御ときより穂
 04 76 07 老しらへるともはかなしくてをいしらへる
 は穂
 04 76 07 なきさはきめてきこゆなきあへり穂
 04 76 08 おほしめされておほされて穂
 04 76 08 ことにナシ穂
 04 76 09 れいならてれいのさまにもおはしまさて
 穂
 04 76 09 日ころへさせ給ければ月日へさせ給へは
 穂
 04 76 09 いたうナシ穂
 04 76 10 けふそすこしけふは穂
 04 76 10 おほされけるおほされけり穂
 04 76 10 御物かたりしめやかにしめやかに御ものか
 たりなと穂
 04 76 11 夜によに穂
 04 76 12 おほしいてられておほしいてゝ穂
 04 76 12 しほたれさせ給しほれさせたまふも穂
 04 76 12 物心ほそく心ほそつ穂
 04 76 12 あそひ御あそひ穂

04 76 13 久つひさしく穂
 04 76 13 なりにけるかなとなりけりやと穂
 04 76 14 しなへうぢふれしつみうぢさひ穂
 04 76 14 ひるのこのよと「るのこか穂
 04 77 01 給へりたまへは穂
 04 77 01 心はつかしう心はつかしと穂
 04 77 01 おほされておほして穂
 04 77 02 めくりあひけるめくりあひぬる穂
 04 77 02 なまめかしきおかしうめてたぎ穂
 04 77 03 御ありさま御さまとも穂
 04 77 03 八講月ごとに八講穂
 04 77 03 おこなはるへきことまついそかせ給はしめ
 ておこなはせ給穂
 04 77 04 給にたまふにも穂
 04 77 04 めつらしうめつらしと穂
 04 77 05 御さへも御としのほとよりは御さえなとも
 穂

04 77 05 こよなくいとかしこつなり穂
 04 77 05 たもたせたまち穂
 04 77 06 かしこくかしこつ穂
 04 77 06 みえさせたまふ見たてまつり給穂
 04 77 06 入道の宮にも入道の宮も穂
 04 77 06 御心すこしつめていますこし御心ちのと
 め給て穂
 04 77 07 事ともことも穂
 04 77 08 ひきかくしてひきかへしあはれなる事おほ
 く穂
 04 77 08 よるノゝいかによるノゝはいかにと穂
 04 77 10 あかしの浦に明石の浦の穂
 04 77 10 あさ霧のあさきりに穂
 04 77 11 あいなくあいなう穂
 04 77 11 人しれぬ人しれす穂
 04 77 11 さしをかせけりさしおかせたり穂

04 77 13 てなとこよなくてなとのおかしさことに
 穂
 04 77 14 みおほせ給て見おほせて穂
 04 78 01 かことやせましうことやせまし穂
 04 78 01 をかしとおかしう穂
 04 78 02 おほししおほいし穂
 04 78 02 なこりなればなこりなれ穂
 04 78 02 給てたまひても穂
 04 78 02 いととおほしつれといとわすれかたけれ
 と穂
 04 78 03 御ふるまひさらに御ふるまひもせちに
 穂
 04 78 03 なとナシ穂
 04 78 03 たゝ御せうそなとはかりにて御ふみはか
 り穂
 04 78 04 おほつかなくをほつかながら穂
 04 78 04 うちめしけなりうちめしけなめと穂